



こんな本も読んでみましょう

選者：埼玉県さいたま市立上小小学校 教諭 新井 千恵子

アンデルセン童話

## 「おやゆびひめ」

花の中に生まれた小さなおひめさま。しあわせになれるかな。

お花の中にちょこんとすわっていた小さな女の子。名まえはおやゆびひめ。ある日、ひめがみにくいヒキガエルにさらわれてしまったから、さあたいへん。ひめにさまざまなこんながまちうけます。けれど、たおれているつばめに出あったことで、ひめのうんめいがかわっていきます。

ヨーロッパの昔話

## 「ねむりひめ」

100 ねんのあいだねむりつづけるおひめさまのそばに、おうじさまが…。

やさしい王さまとおきさきさまのもとに、きれいでかしいおひめさまがうまれました。ところが、おいわいのかいでいじわるなまじょが、「ひめは糸まきぼうで手をさしてしぬ」といったのです。せいちょうしたひめは、まじょのとおりのとおり、糸まきぼうに手をさしてたおれてしまい…。

ロシアの民話

## 「そらをとぶふね」

だれでも一つは、人よりできることがあるんだね。

3人きょうだいのすえっ子ではたらきもののイワン。ある日、「そらとぶふね」でおしろへきたら、おひめさまのむことしてむかえる」という王さまのおふれをしります。ぼろぼろのふくのままいえをしゅっぱつしたイワンは、やがておひめさまのむこに！イワンのちえがたくさん見つかりますよ。おたのしみに。

グリム童話

## 「おおかみと七ひきのこやぎ」

おかあさんだとおもって、さつととをあけると。さあ、たいへん。

「おおかみにくれぐれもきをつけるように」といいのこして、たべものさがしにでかけたおかあさんやぎ。「しんぱいしないでいっといで」と、いえでまっている七ひきのこやぎ。そこへ、とんとんといり口をたたく音がします。七ひきのこやぎたちは、さいごまで、ぶじにるすばんができるのでしょうか。